

業務パックご説明資料

提供中

不正・異常検知パック

「怪しい」を再現可能な条件式にする。挙げるのは兆候まで、認定はしない。

「知識の複利ループ」 SaaS — 業務ノウハウをAIの業務パック(Skill)に変え、チームが毎月"複利で"速くなる。

よくある課題

チェック観点が属人的で、担当が変わると精度が落ちる

なぜその取引が挙がったのか説明できない

誤検知が多く、確認作業そのものが形骸化する

このパックに含まれる業務Skill

含まれる業務パック（Skill）と複利ループ

不正・異常検知支援

時間軸（期末直前・休日深夜・遡及修正）、金額（承認閾値直下の分割起票・丸め金額・同額反復）、関係（起票者＝承認者・権限逸脱・新規取引先への即時大口）、マスタ（支払口座の直前変更・休眠取引先の再稼働）、分布（先頭桁分布・勘定科目×部門のはずれ値）の観点を展開し、抽出条件・必要データ・想定される正当な説明・追加証跡の4点セットで手続書化。

① 蓄積

業務ノウハウを業務パック（Skill）にする

② 活用

Claude / Codex / Gemini の各AIエージェントで実務に使う

③ 分析

稼働ログ・削減時間をダッシュボードで自動測定

④ 改善

新しい知見を差分説明付きの「更新のご提案」として配布。採用は貴社判断

導入効果

- ✓ すべての検知が再現可能な条件式として残り、説明できる
- ✓ ヒットごとに「想定される正当な説明」欄があり、決めつけない運用になる
- ✓ 確認済み・除外の判定が蓄積し、次回の閾値と観点が最適化される

安心設計と料金

判断は人、準備はAI。

主体は貴社のまま

出力は「要確認の兆候リスト」であり不正の認定ではありません。個人を名指しして不正と断定する文章は生成しません。調査・ヒアリング・処分は貴社の規程と担当部門（内部監査／コンプライアンス／人事／顧問弁護士）が行います。

データは貴社の資産

データはAIのモデル学習に使いません。正本はプエンテ管理git（会社ごとに完全分離）。解約時に持ち出し可（ロックインしない）。

2つの提供モード（料金は同一）

モードA（エージェント導入型）：貴社のClaude/Codex/GeminiでSkillを実行。データは社外に出ない。

モードB（マネージド分析型）：資料を預けるだけ。プエンテがSaaS側で実行し、貴社はダッシュボードを見るだけ。

どちらを選んでも料金は変わりません。途中変更も可能。

Skillの安全性

公式Skillはテキスト（Markdown）のみで実行バイナリを含みません。配布前にプエンテが内容を審査し、SHA-256チェックサムで改ざん検証が可能。法令の参照は一次情報（国税庁・消費者庁等）をPuente MCP Hub経由で確認します。

料金

フル機能 月額¥3,000/ユーザー（税込・14日間無料トライアル）／初期費用 ¥300,000（税別・カード決済可）

導入支援オンボーディング 0.5～1ヶ月: 75万～150万円（税別・別途見積・準委任） — お問い合わせ: <https://www.puentework.com/contact#contact>

※ 14日間の無料トライアルはフル機能・全業務パック（基本6パック＋監査3パック）が対象です。契約は準委任・月額、いつでもアプリ内から解約できます。